



① 渋くてすっぱい

新久田道からホツツケ田へと下る坂はぐみ坂と言います。グミ（グミ科）は今はお菓子の名称として親しまれていますが、もともとはこのグミの実からとった名称でしょう、その甘すっぱくて渋い実は昔の子供たちの野遊びの時に口を楽しませたことでしょう、この時期は一番熟して真っ赤になり鈴なりになっています。



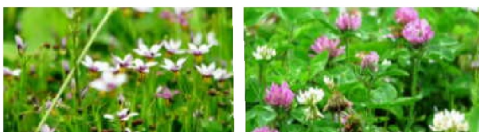
② 相ノ谷橋から駒力崎の森へ

相ノ谷橋から駒力崎の森に通じる新久田道は、クワ（クワ科）が生えています。昔はカイコの飼料としてたくさん植わっていたものでした、カイコは絹糸の材料となる糸を出す蛾の食料となり古河でも明治頃までは養蚕業が盛んでした。クワの実（じゆく）は熟すと濃い紫色になり食べられます。



③ 梅雨の主役

初夏へ入る時期に古河総合公園の主役はアジサイです。桃林の導入路から中山台に抜ける小道にはたくさんのアジサイが植えられています。初夏になりうっそうとした緑のアーチに華やかに咲きそろいます、6月中旬からが見頃です。



④ 御所沼の水草

御所沼には、たくさんの水草が生えています、マコモ・ガマ・ヨシ・ジュンサイなどや外来種のおオカナダモなども繁殖しています、また珍しいタヌキモなどもあります。写真はこれから日を追うごとに沼面を覆いつくすヒシです、ヒシはひし形と呼ばれる形の元になった植物です、実は食用となります。



⑤ こぶし野のお花畑

こぶし野のお花畑の主役は、ニワゼキショウ（アヤメ科）とムラサキツメクサ（マメ科）です。ニワゼキショウは小さくてもアヤメと同じ種類、ムラサキツメクサは、シロツメクサと同じ種類ですが、葉はシロツメクサより少しおおく名前のとおり花は紫色になります。

⑥ 水鶏坂知ってますか？

水鶏坂は古民家から公方様の森と梅林を抜けて御所沼に下る坂です。しっとりと雨振る梅雨の季節に静かな趣を感じさせます、水鶏坂地名碑の隣には、ニワトコの赤い実が鮮やかに彩を添えています。

